

平成 26 年度 AKP 事業報告

1. AKP 事業の目的と概要

AKP (All Kameyama Point) 事業は、平成 26 年 3 月に見直しを行いました「かめやま環境プラン」の中で重点的取り組みとして位置付けられており、環境活動に対する市民の取り組みの意欲向上を図るとともに、省エネ・創エネをオール亀山市の取り組みとして推進するものです。そして、AKP 事業により、市民の省エネ行動率を平成 24 年度の 56%から 63%に引き上げるこ

とを目標としています。

この目標を達成するために、市民の環境活動に対しポイントを付与し、そのポイントに合わせたインセンティブ（動機付け）を与えることにより、CO₂の削減推進や、環境活動へのより多くの参加を促し、環境意識の向上と環境活動への関心を高め、行動の定着化を図るものです。

2. 平成 26 年度の AKP 事業実績

今年度の AKP 事業には 312 件(世帯)からの申し込みがあり、内 221 世帯から実績の報告がありました。獲得ポイント数は全世帯合わせて 3,085,075 ポイントとなり、一世帯当たりの平均獲得ポイントは 13,959.6 ポイントとなりました。今年度は 1 世帯当たりの獲得ポイント数の上限を 10,000 ポイント(一万円相当)としていますので、上限を 10,000 ポイントとして 1 世帯当たりの獲得ポイントの平均を求めますと 8,238.2 ポイントとなりました。

では、電気使用量の削減がポイント全体のほぼ半分を占めており、ポイント活動のメインとなっている事が見て取れます。続いてプロパンガス使用量削減、エコカー購入の順でポイントを多く獲得しています。

獲得ポイント毎の世帯分布を図 1 に示します。この図より上限のポイントを獲得している家庭は全体の 56.1%を占めており、半数以上の家庭が 10,000 ポイントを交換することが出来ました。その一方、ポイント交換の対象とならない 3,000 ポイント未満の家庭が 7.7%存在していますので、今後交換ポイントの下限について、検討する必要があると思われます。

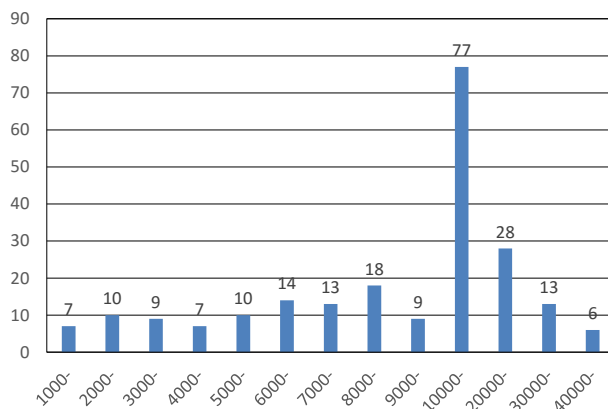


図 1 AKP 獲得ポイント世帯数分布

表 1 および図 2 に世帯毎に平均した各獲得ポイントの内訳について示します。今年度の結果

表 1 ポイント内訳 (平均値)

電気	ガス	エコカー	後半エコライフチェック	前半エコライフチェック	家電	太陽光	イベント参加	エコキュート	緑のカーテン	合計
7358.9	2351.8	1371.0	1000.0	846.2	449.1	302.3	114.5	111.5	54.3	13960
52.7%	16.8%	9.8%	7.2%	6.1%	3.2%	2.2%	0.8%	0.8%	0.4%	100%

続いて月ごとの電力使用削減量およびプロパンガスの使用削減量を図 3 に示します。図中青色(左)のデータが全世帯平均で、茶色(右)のデータが削減できた世帯での平均値です。この差が小さいほど、多くの世帯が使用量削減に成功したことを示しています。図 4 に削減を実施した世帯の月ごとの割合を示します。

電力については、夏期(8月～9月)は多くの世帯が削減に成功していますが、冬期(12月～2月)は削減を行うことのできた家庭は限られている事がわかります。しかし図 4 より、10月を除き 40%以上の世帯が削減に取り組んでおり比較的取り組みやすい活動であったと思われます。

一方、プロパンガスについては、夏場は風呂や給湯などに使われる程度なので、あまり削減することができず、削減活動の多くは暖房に利用していると思われる冬期に集中しています。しかしながら削減できる世帯の割合は電気に比べてかなり低く、全ての月で 30%を下回っています。この理由としては年間のガス削減量が年間 0m³

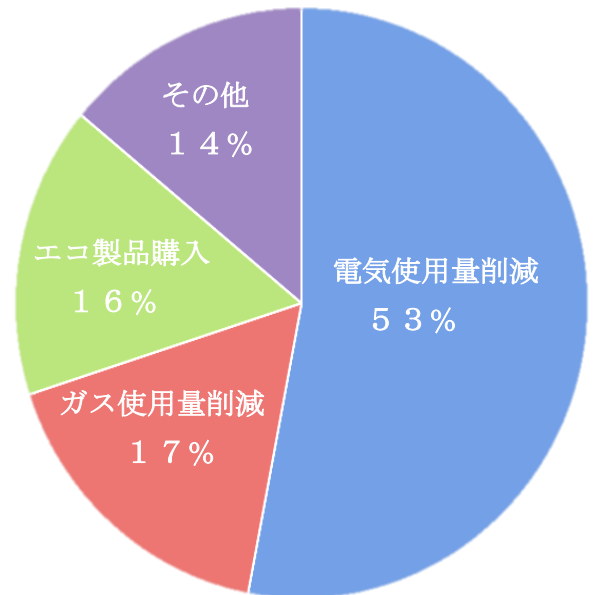
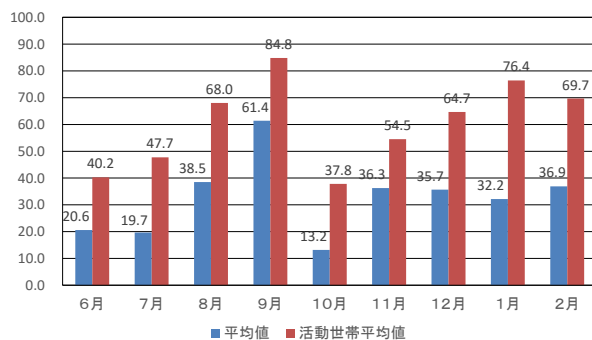
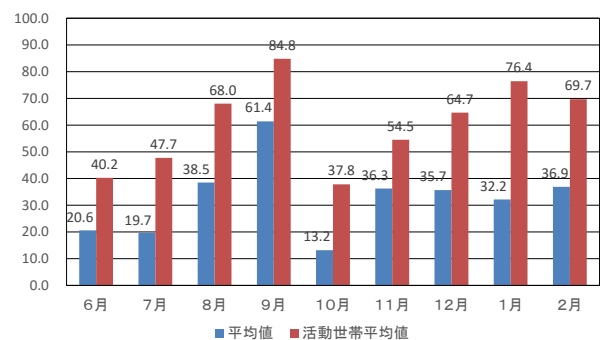


図 2 ポイント獲得活動の内訳

の家庭が 101 世帯(全世帯に対する割合は 46%、なお、電気削減量 0 の世帯割合は 8.5%)あり、このうちの何割かはオール電化になっていることで削減量が 0 になっていると考えられます。そのため、削減できた世帯の平均削減量は 7.88m³であり、全体平均である 4.28m³の 1.8 倍の削減を行っています。



(a) 電力削減量[kWh]



(b) プロパンガス削減量[m³]

図 3 月別の電力・ガス削減量の推移

また、エコイベント参加については、全体の36%が1回以上の参加をしており、参加者による参加回数の平均値は3.2回となっているが、今後より多くの参加者が出るのが望まれます。その他の項目については、エコ家電購入(平均0.75台、申告世帯平均2.04台)、エコカー購入(平均0.29台)、エコキュート設置(全世帯の19%)、太陽光発電設置(全世帯の17%)と言う結果になりました。

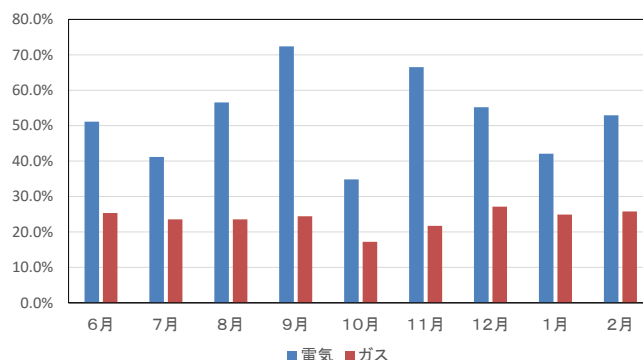


図4 電力・ガス削減実施世帯の割合

3. 平成26年度 CO₂ 排出削減効果

本年度のAKP活動により電気・プロパンガスの使用量削減によるCO₂排出削減量は電気が34.78t(換算係数:0.551kg-CO₂/kWh、環境省の平成25年度排出係数代替値による)、ガスが5.67t(換算係数:6kg-CO₂/m³、日本LPガス協会「CO₂排出係数について」より)、エコカー購入

によるものが14.8t、太陽光発電設置によるものが58.4tとなり、全体で113.7tのCO₂を削減することができ、今年度亀山市が目標に設定した削減量を大きく上回る結果となりました。なお一世帯当たりの平均では514.3kgのCO₂を削減する事が出来ました。

4. おわりに

今年度はAKP事業の一年目であり、どの程度の成果が得られるかが不明な部分も多くあったが、電力やガスの削減効果が予想よりかなり高かったこともあり、半数以上の世帯が上限の10,000ポイントを獲得することが出来ました。なお、獲得ポイントの70%が電気・ガスの削減によるものであるため、次年度以降は他の活動、

特に環境イベント等への参加が増加することが望まれます。そして、環境活動に対する市民の取り組みの意欲を向上させ、省エネ行動率を引き上げることで省エネ・創エネをオール亀山市の取り組みとして推進していきたいと考えております。今後の市民の皆様の一層の取り組みに期待します。